

Weekly Bulletin

2022-2023

第2510地区
Rotary INTERNATIONAL

札幌東ロータリークラブ

本日の
プログラム

北海道における事業承継の現状と支援の取り組み

北海道事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者補佐 大野素良 氏

新会員卓話 井元 誉明 会員

本日は自己紹介と弊社のご紹介をさせていただきます。

私は1980年6月23日生まれで42歳です。生まれは札幌市中央区山鼻地域で、実家は祖父の代からクリーニング業を営んでおり、男三兄弟の三男として生まれました。育ちもずっと札幌の小中学校、藻岩高校、北海学園大学を卒業した後、兄が継いだ家業である白洗舎クリーニング株式会社へ入社、工場の現場から、配送、店舗工事、営業、販促、経理など各部門の業務を行いました。その後、北海リースキン株式会社へ入社し、現場・管理・運営を行い、M&Aで業務内容を拡げるなど業績を上げてきました。2017年に先代である父が他界いたしまして、それから北海リースキン株式会社の代表を務め、その他にも全国リースキンチェーンの理事や一般社団法人日本ダストコントロール協会の北海道会長などを務めております。会社は札幌市白石区平和通に本社を置き、全道に営業所・加盟店がありまして、道内全域の法人やご家庭へサービスを提供しております。創業が1968年、今年で55周年になります。

業務内容はダストコントロール業で、リースキンチェーン北海道地域本部として活動しており、ユニフォームレンタルや清掃ハウスケア業務、AEDの販売、人工樹木など様々な事業も行っております。ダストコントロールという言葉はあまり聞きなれない言葉だと思います。ダストコントロールというのは、言葉の通りダスト=ホコリをコントロールするという意味ですが、商品としてはお掃除に使うモップやお店の玄関に敷いてあるマットなどの乾式清掃用具を総称してダストコントロール商品といいます。ダストコントロールの歴史は長く、今から116年前の1907年、アメリカで石油を掃除に使用するという着想が特許出願されたことが始まりです。日本国内では1962年に「化学ぞうきん」という特殊な吸着薬剤を塗布した貸ぞうきんが始まりでした。それからダストコントロールモップや玄関マット、空気清浄機、衛生管理商品など取り扱い商材も増えていき現在に至ります。

またこのダストコントロール事業には、知りたい大きな特徴があります。それは、ダストコントロール業はレンタル事業としてお客様に商品をお貸しし、製

品の使い捨てをしないというビジネスモデルであるという点、そしてこのビジネスモデルそのものが、SDGsのいくつものゴールに対する行動と一致していることです。何回もくり返し使う『リユース』、ゴミそのものを減らす『リデュース』、資源として再利用する『リサイクル』この3つのRを総称して『3R』といいます。環境負荷を軽減するものとして推奨され、ダストコントロール事業者はこの『3R』を昔から取り組んでまいりました。ダストコントロール事業そのものについては、これまでの歩みであり、今後も続け、地域、社会のキレイ清潔を提供していきます。

そしてリースキンでは新たな取り組みとして我々が提供するサービスや商品を通じて『きれい』『衛生的』なトイレを保つことを提案しております。3年前に全世界で広まったCOV ID-19や様々な感染症の感染経路のひとつとしてトイレが着目されており、リースキンでは清潔と感染防止を目的とした商品をレンタルで提供しております。世の中には同様の商品が販売されていますが、レンタルで提供するということは、常に管理された状態で、トイレを利用する人に不便を掛けないというサービスを提供しております。我々はここに拘って、お客様と繋がっていくことを目標としております。

これからも、より多くのみなさまへ『キレイ』をお届けできるよう活動していくたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。



2022-23年度 国際ロータリーのテーマ

「イマジンロータリー」

国際ロータリー会長:ジェニファー・ジョーンズ

■本日のロータリーソング

君が代、四つのテスト

